2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

社会

1　問1（3点）

インド洋

解説: 三大洋は太平洋・大西洋・インド洋。Xはアフリカ大陸とオーストラリア大陸のあいだ、赤道の南に広がる海で、**インド洋**である。インド洋はアジア・アフリカ・オーストラリアに囲まれ、季節風（モンスーン）の影響を強く受ける。

採点ポイント: 「洋」まで書く。「インド」だけは不可。

1　問2（3点）

ウ

解説: Bはブラジル。さとうきびを原料にしたバイオエタノールの生産がさかんで、ガソリンに混ぜたり、そのまま自動車の燃料にしたりしている。

「ぶた肉を食べない」→ イスラム教の国（サウジアラビアなど）
グレートディヴァイディング山脈・羊の飼育 → オーストラリア（E）
ブラジルの公用語は**ポルトガル語**（スペイン語は南アメリカのほかの多くの国）

採点ポイント: ブラジル＝ポルトガル語・バイオエタノール・コーヒー豆・アマゾン川流域の開発、をまとめて覚える。

1　問3（3点）

アパルトヘイト

解説: Cは南アフリカ共和国。少数の白人が多数の黒人などを差別した人種隔離政策を**アパルトヘイト**といい、国際的な批判が高まって1991年までに法律が廃止された。1994年にはネルソン・マンデラが黒人初の大統領となった。この国は金・ダイヤモンド・白金（プラチナ）などの鉱産資源にも恵まれている。

採点ポイント: カタカナ7字を正確に。「アパルトヘイト」の「ト」「ヘイ」の書きまちがいに注意。

1　問4（3点）

エ

解説: Dはインドネシア。人口は約2.8億人で東南アジア最大、**イスラム教**徒が人口の約9割をしめ、世界でもイスラム教徒の数が最も多い国の一つ。多数の島からなり、ASEANにも加盟している。

キリスト教 → ヨーロッパ・南北アメリカ・フィリピンなど
ヒンドゥー教 → インド
仏教 → タイ・ミャンマーなど

採点ポイント: 国と宗教の対応（インドネシア＝イスラム教、タイ＝仏教、インド＝ヒンドゥー教）。

1　問5（3点）

オ

解説:
Ⅰ（鉄鉱石・石炭・液化天然ガス） → 鉱産資源が豊富なオーストラリア（E）
Ⅱ（原油・自動車・機械類） → 原油が産出し、アメリカ合衆国向けに自動車・機械類を輸出するカナダ（A）
Ⅲ（石炭・パーム油・鉄鋼） → 石炭とアブラやしから作るパーム油を輸出するインドネシア（D）

採点ポイント:「鉄鉱石＝オーストラリア」「パーム油＝東南アジア（インドネシア・マレーシア）」の2点が決め手。

1　問6（5点）

輸出相手国の中心が、イギリスなどヨーロッパの国から、中国・日本・韓国などのアジアの国々に変わった。

解説: 1960年は1位がイギリス（約27%）で、旧宗主国とのつながりが強かった。2021年は1位が中国（約38%）で、上位3か国がすべて**アジア**の国になっている。オーストラリアは1970年代に**白豪主義**を完全にやめ、アジアからの移民を受け入れて多文化社会へと進んだ。また、近いアジア諸国が経済成長して、鉄鉱石や石炭、液化天然ガスなどの資源を大量に買うようになった。

採点ポイント（5点満点）:
3点：中心が「イギリス（ヨーロッパ）」から「アジア」の国々へ変わったこと（「アジア」を含む）
2点：中国・日本・韓国など、具体的な国名にふれている

2　問1（3点）

促成栽培

解説: 温暖な気候を利用し、ビニールハウスや暖房を使って作物の出荷時期を**早める**栽培方法が**促成栽培**。宮崎平野や高知平野でピーマン・きゅうり・なすなどが栽培され、冬から春に大都市へ出荷される。反対に、涼しい気候を利用して出荷を**遅らせる**のが**抑制栽培**（長野県・群馬県の高原野菜）。

採点ポイント: 漢字4字指定。「促成」の「促」の字を正確に。「抑制栽培」との取り違えに注意。

2　問2（3点）

エ

解説:
和歌山市（Ⅱ）：冬も気温が5℃以上で、年間を通じて温暖。梅雨や台風の時期の降水量が多く、太平洋側（南海の気候）の特徴。
青森市（Ⅲ）：気温が低く、**冬（12〜1月）の降水量が多い**。冬に北西の季節風が日本海から湿った空気を運び、雪が多く降るため。
長野市（Ⅰ）：気温は低いが、**年間の降水量が少なく**、とくに冬は少ない。まわりを山に囲まれた内陸（中央高地）の気候。

ⅠとⅢは気温が似ているが、冬の降水量がⅢのほうが多いことで区別する。

採点ポイント: 気温（高低）→和歌山、冬の降水量（多い→日本海側の青森、少ない→内陸の長野）の順に絞る。

2　問3（3点）

ウ

解説:

Ⅰ（野菜が最も多く、畜産・米も多い） → 茨城県。東京などの大消費地に近く、新鮮な野菜を出荷する**近郊農業**がさかん。

Ⅱ（果実の割合が高い） → 青森県。津軽平野を中心に、**りんご**の生産量が全国第1位。

Ⅲ（畜産が約6割） → 宮崎県。シラス台地を中心に、肉牛・豚・にわとりの飼育がさかん。

採点ポイント: 「畜産の割合が突出→宮崎」「果実の割合が高い→青森」「野菜の割合が高い→茨城」の順で絞る。

2　問4（5点）

斜面は日当たりと水はけがよく、みかんの栽培に適しているから。

解説: みかんなどの果樹は、日当たりがよく、水はけのよい土地でよく育つ。山の**斜面**は日光が当たりやすく、雨水が下へ流れて水がたまらないため、果樹園に適している。和歌山県や愛媛県では、斜面の段々畑でみかんの栽培がさかんである。青森県のりんごや山梨県のぶどう・ももも、扇状地や斜面の水はけのよい土地で栽培される。

採点ポイント（5点満点）:

2点：「日当たり」がよい

2点：「水はけ」がよい

1点：栽培（果樹の生育）に適している、という結論

2　問5（2点）

ア

解説:

正（弘前駅と市役所）：市役所（◎）は駅の右上＝**北東**にある。図上の長さは2.8cmなので、実際の距離は2.8cm×25000＝70000cm＝**約700m**。

川：標高点が北で58m、南で44m。川は**高いほうから低いほうへ**流れるので、北から南へ流れている。南から北へは誤り。

神社と寺院：神社（鳥居）は寺院（卍）の**南東**にある。北東は誤り。

病院：駅から病院までは図上で約1.5cm。1.5cm×25000＝37500cm＝**約375m**。750mは誤り。

採点ポイント: 方位（地図の上が北）、縮尺の計算（図上の長さ×25000）、標高から川の流れを読む。

3　問1（3点）

蘇我

解説: 645年、中大兄皇子は中臣鎌足らとともに、当時、天皇をしのぐほどの権力をふるっていた**蘇我氏**（蘇我蝦夷・入鹿の親子）をたおした。その後、土地と人々を国家が直接支配する公地・公民をめざす**大化の改新**が始まり、のちに律令国家へと進んだ。

採点ポイント: 漢字2字指定。「蘇我」の「蘇」の字を正確に。「物部」「藤原」との取り違えに注意。

3　問2（5点）

娘を天皇のきさきにし、生まれた子を次の天皇にして、天皇の母方の祖父（外戚）として力をもったから。

解説: 藤原氏は、娘を天皇のきさきとし、その子を次の天皇に立て、天皇の**外戚**（母方の親せき）となって政治の実権をにぎった。天皇が幼いときは**摂政**、成人してからは**関白**として政治を行う**摂関政治**は、11世紀前半の**藤原道長・頼通**の時代に最も栄えた。道長は「この世をばわが世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」とよんだ。

採点ポイント（5点満点）:
2点：娘を天皇のきさき（后）にしたこと（「娘」を含む）
2点：生まれた子を天皇にして、外戚（天皇の母方の祖父）になったこと（「天皇」を含む）
1点：その結果、政治の実権をにぎった、という結び

3　問3（3点）

ウ

解説: 元寇（1274年の文永の役・1281年の弘安の役）は、外国から攻められた防衛戦だったため、幕府は新しい領地を手に入れられず、命がけで戦った**御家人に十分な恩賞をあたえられなかった**。御家人は生活が苦しくなり、幕府への不満が高まった。幕府は借金を帳消しにする**永仁の徳政令**（1297年）を出して救おうとしたが、効果は長続きせず、鎌倉幕府は衰えていった。

六波羅探題 → 1221年の承久の乱のあとに京都に置かれた
管領 → 室町幕府で将軍を助けた役職

採点ポイント: 元寇＝防衛戦＝恩賞不足＝御家人の不満、の因果を結ぶ。

3　問4（3点）

ア

解説: **太閤検地**は、豊臣秀吉が全国の田畑の面積や土地のよしあしを調べ、**耕作者を検地帳に登録**した政策。これによって、土地の権利関係が整理され、武士と百姓の身分の区別が進んだ（兵農分離）。

1年おきに江戸と領地に住まわせる → 江戸時代の**参勤交代**（徳川家光が制度化）
寺に証明させて登録 → 江戸時代の**宗門改め**（キリスト教の禁止が目的）
五人組 → 江戸時代の百姓の連帯責任の制度

採点ポイント: 太閤検地＝「検地帳に耕作者を登録」。刀狩・参勤交代との混同が最大の誤答パターン。

3　問5（3点）

イ

解説: 江戸時代は1603年（徳川家康が征夷大将軍に就任）〜1867年（大政奉還）。
X アメリカ独立宣言（**1776年**）→ 江戸時代に含まれる（**正**）
Y ビザンツ帝国の滅亡（**1453年**）→ 日本では室町時代。江戸時代ではない（**誤**）
Z アヘン戦争（**1840年〜1842年**）→ 江戸時代に含まれる（**正**）。日本は清の敗北に衝撃を受け、幕府は異国船打払令をゆるめた。

採点ポイント: アメリカ独立宣言1776年、ビザンツ帝国滅亡1453年、アヘン戦争1840年の3つの年代照合。

4　問1（3点）

領事裁判権

解説: 1858年、幕府は大老**井伊直弼**のもとで、アメリカと**日米修好通商条約**を結んだ。この条約では、日本に在留する外国人が罪をおかしても日本の法律で裁けない**領事裁判権（治外法権）**を認め、日本に**関税自主権がない**という、不平等な内容だった。領事裁判権は1894年に陸奥宗光が撤廃に成功し、関税自主権は1911年に小村寿太郎が回復した。

採点ポイント: 漢字5字指定。「治外法権」は4字なので不可。

4　問2（3点）

イ

解説: 大日本帝国憲法（1889年発布）は、**伊藤博文**らが、君主の権限が強い**ドイツ（プロイセン）**の憲法を参考にしてつくった。天皇が主権をもつ国で、国民の権利は「法律の範囲内」で認められるにすぎなかった。

板垣退助・フランス型 → 自由民権運動の私擬憲法（民間の憲法案）
主権は国民・天皇は象徴 → 戦後の**日本国憲法**
法律でも制限されない権利 → 誤り。大日本帝国憲法では「法律の範囲内」

採点ポイント: 伊藤博文＋ドイツ型＋天皇主権の3点セット。

4　問3（5点）

賠償金が得られなかったから。

解説: 日露戦争（1904〜1905年）で、国民は増税や兵役など重い負担にたえて戦争を支えた。しかしアメリカの仲立ちで結ばれた**ポーツマス条約**では、日本は樺太（サハリン）の南半分や旅順・大連の租借権などを得たものの、**賠償金は得られなかった**。このため国民の不満が高まり、東京では日比谷焼き打ち事件が起こった。

採点ポイント（5点満点）:
3点：賠償金（がなかった・得られなかった）ことにふれている（「賠償金」を含む）
2点：「得られなかったから」「もらえなかったから」など、条約への不満の理由として文が成立している

4　問4（3点）

エ

解説: 年代の順は次のとおり。
③ 世界恐慌が起こる（**1929年**）
① 満州事変が起こる（**1931年**）
② 日中戦争が始まる（**1937年**）
④ 国家総動員法が定められる（**1938年**）

世界恐慌で不況が深刻になった日本は、中国東北部に進出して満州事変を起こし、やがて日中戦争へと進んだ。戦争が長引くと、国家総動員法で政府が人や物資を戦争に動員できるようにした。

採点ポイント: 恐慌→満州事変→日中戦争→総動員法、の因果の流れで覚える。

4　問5（3点）

ウ

解説: 期間P（1956年〜1973年）は**高度経済成長**の時代にあたる。1964年に**東京オリンピック**が開かれ、同じころ東海道新幹線が開通した。1973年の石油危機で、高度経済成長は終わった。

ベルリンの壁の崩壊 → **1989年**
阪神・淡路大震災 → **1995年**
日本国憲法の公布 → **1946年**（期間Pの前）

採点ポイント: 1964年の東京オリンピックが期間Pに入ることを年代で確認する。

5　問1（3点）

イ

解説: 1789年のフランス革命で発表された**人権宣言**（人および市民の権利の宣言）は、自由・平等・国民主権・私有財産の不可侵などをうたった。

権利の章典 → 1689年、イギリスの名誉革命のあとに出された（議会の権限を確認）
ワイマール憲法 → 1919年、ドイツで世界で初めて**社会権**を取り入れた
世界人権宣言 → 1948年、国際連合が採択した

採点ポイント: 文書と国・年の対応（人権宣言＝フランス1789、権利の章典＝イギリス1689、ワイマール憲法＝ドイツ1919）。

5　問2（4点）

立憲主義

解説: 憲法によって国家権力（政治権力）を制限し、国民の人権を守るという考え方を**立憲主義**という。権力者も法に従わなければならないという**法の支配**の考え方に基づく。日本国憲法は、第98条で憲法を国の**最高法規**と定め、第99条で天皇・国務大臣・公務員などに憲法を尊重し擁護する義務を課している。

採点ポイント: 漢字4字指定。「立憲政治」「立憲制」は不可。

5　問3（3点）

エ

解説: 日本国憲法では、主権は**国民**にあり（**国民主権**）、天皇は**日本国と日本国民統合の象徴**とされる。天皇は国政に関する権限をもたず、**内閣の助言と承認**にもとづいて、憲法に定められた**国事行為**（法律の公布、国会の召集、栄典の授与など）だけを行う。内閣総理大臣は**国会が指名**し、天皇が任命する。

元首・最終決定 → 誤り（大日本帝国憲法下の天皇）
選挙で選ばれ総理大臣を指名 → 誤り
主権をもつ天皇 → 誤り（現在は国民が主権者）

採点ポイント: 象徴＋国事行為は内閣の助言と承認。

5　問4（3点）

イ

解説:
X（令状がなければ逮捕されない） → **自由権**（身体の自由）。国家の不当な干渉を受けずに自由に行動できる権利。
Y（生活に困っている人が生活保護を受ける） → **社会権**（生存権）。人間らしい生活を国に保障してもらう権利。
Z（性別や出身などを理由に不当に差別されない） → **平等権**。法の下の平等（憲法第14条）。

採点ポイント: 自由権＝国家から自由、社会権＝国家に求める、平等権＝差別されない、で区別。

5　問5（3点）

ウ

解説: 自己決定権は、自分の生き方や医療などについて、自分で決める権利。医療でのインフォームド・コンセント（十分な説明を受けたうえでの同意）や、臓器提供意思表示カードなどが例。

行政の文書の開示を求める → **知る権利**（情報公開制度）
開発前に環境への影響を調べる → **環境権**（環境アセスメント）
私生活の情報を公開されない → **プライバシーの権利**（個人情報保護制度）

採点ポイント: 4つの新しい人権（知る権利・環境権・プライバシーの権利・自己決定権）と具体例の対応。

5　問6（5点）

人権を無制限に認めると、他の人の人権を侵害するおそれがあり、人権どうしの衝突を調整する必要があるから。

解説: 基本的人権は、すべての人が平等にもつ権利なので、ある人が自分の権利を無制限に主張すると、**他の人の人権を侵害**してしまうことがある。このため、人権どうしの衝突を調整し、社会全体の共通の利益を守るために、**公共の福祉**による制限が認められている（憲法第12条・第13条）。例：表現の自由があっても、他人の名誉を傷つける発言は制限される。居住・移転や職業選択の自由も、公共の福祉による制限を受ける。

採点ポイント（5点満点）:
3点：他の人の人権（権利）を侵害するおそれがあること（「他の人」を含む）
2点：人権どうしの衝突を調整する（人権を守る）ため、という趣旨

6　問1（3点）

出島

解説: 江戸幕府は、キリスト教の禁止と貿易の統制のために**鎖国**を行った。1641年、平戸のオランダ商館を長崎の人工の島である**出島**に移し、オランダと中国（清）にだけ、長崎で貿易を許した。オランダ風説書により、幕府は海外の情報を得た。

採点ポイント: 漢字2字指定。「出島」の字を正確に。

6　問2（3点）

ウ

解説:

Ⅰ（面積が最も広く、米の収穫量が突出して多い） → 新潟県。越後平野などで稲作がさかんで、米の収穫量は全国有数。

Ⅱ（海面漁業の漁獲量が非常に多い） → 長崎県。対馬・五島列島など離島が多く、海岸線が長いため、漁業がさかん。

Ⅲ（人口が最も多く、面積が最も小さい） → 大阪府。人口が集中し、面積は全国で2番目に小さい。

採点ポイント: 「面積最小・人口最多＝大阪」「米が多い＝新潟」「漁獲量が多い＝長崎」の順で絞る。

6　問3（3点）

ア

解説: オランダは**ヨーロッパ州**の国。ヨーロッパの多くの国は**EU（ヨーロッパ連合）**に加盟し、加盟国の間では、人や物の移動が自由で、多くの国が共通通貨**ユーロ**を使っている。

ASEAN → 東南アジアの国々の組織
ロッキー山脈・中央大平原 → 北アメリカ州
植民地支配の歴史・モノカルチャー経済 → アフリカ州

採点ポイント: 州ごとの地域統合（EU＝ヨーロッパ、ASEAN＝東南アジア）の区別。